

第18回 藤枝市総合教育会議議事録

令和3年5月25日

藤枝市教育委員会

第18回藤枝市総合教育会議教育委員会

令和3年5月25日（火）

市役所西館3階 特別会議室

1 開 会 午後1時30分

2 協議事項

(1) 科学教育の推進に向けて

①科学探求心育成事業

②ふじえだロボットアカデミー事業

(2) 新型コロナウイルス（変異株）感染拡大に伴う学校における危機管理体制について

3 構 成 員

職 名		氏 名
市長		北村 正平
教育委員会	教育長	中村 禎
	委員（教育長職務代理者）	浅井 好美
	委 員	山田美穂子
	委 員	牧田 伸明
	委 員	野中 進

4 出席した事務局職員

教 育 部 長	安達 剛正
教 育 政 策 課 長	杉原 一行
学 校 教 育 監	梶川 佐知子
主 席 指 導 主 事	安藤 厚志
生 涯 学 習 課 長	小川 聡
教 育 政 策 課 主 幹	藪崎 公輔
総 務 係 長	田中 英忠
書 記	谷光 美和

5 傍 聴 者 4人

6 意見の概要 別紙のとおり

7 閉 会 午後3時

○市長あいさつ

教育行政にも大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルスの話題を取り上げたい。昨年度は、学校休校や、それに伴う夏休みの短縮、入学式や卒業式、修学旅行など、様々な教育活動が制限を受け、変更を余儀なくされた。そのような中でも、本市では、学びの保障を維持するとともに、感染対策を徹底し、これまで学校内における集団感染などの重大事例も発生していないことに対し、先生方をはじめ、学校関係者の皆様のご努力やご協力に、感謝している。

このようなコロナ禍であっても、「教育日本一」を掲げる本市としては、本年度も学校現場において、学校生活支援員の継続配置や、図書館司書、ALTの配置など、学校の環境整備を進めることで、児童生徒、そして教員のサポートを継続していく。例年、総合教育会議では、教育委員の皆さんと学校現場に足を運び、子どもたちの様子を見ているが、感染力が高いと言われているインド型変異株の判明など、まだまだ感染拡大について予断を許さない状況もあり、感染拡大防止の観点から、参観できる状況ではない昨年度、国のGIGAスクール構想により、一人一台タブレットの整備が完了し、今回、ぜひICTを活用した授業などを参観したいと考えていたが、その取り組み状況を確認できず、大変残念である。時機をみて、参観したい。

本日の協議内容は、本市が先進的に進めている「科学教育の推進」と喫緊の課題でもある「新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校の危機管理体制」の2つである。科学教育は、本市の教育施策の中でも、特に力を注いでいるところでもあり、教育委員の皆さんと意見を交わしたい。

総合教育会議は、市長と教育委員会が教育政策について協議・調整する会議であり、皆さんからの意見はできる限り取り上げ、教育行政の充実のために活かしていきたい。

○協議に関する意見

限られた時間での協議となるが、皆さんの忌憚のない意見を聞きたい。

(1) 科学教育の推進に向けて（動画にて事業紹介）

- ①科学探求心育成事業
- ②ふじえだロボットアカデミー事業

市長：本市は科学教育に力を入れていて、今紹介のあった取組みについて、市民が知っているか。動画紹介があつてとてもよかったが、各学校へ本動画を公開しているか。

生涯学習課長：新聞にも掲載され、先日の取り組みを広報紙の表紙に依頼しているところである。児童に対しても、市内学校を通じて案内通知し、QRコードにより取組みの紹介もしている。藤枝駅構内のパープルビジョンでも表示している。

市長：学校の対応に温度差があるので、積極的に取り組んでほしい。

- 市長：本市はこれまで、ソフトバンクとの包括連携協定を結び、人型ロボット・Pepperを使ったプログラミング教育や、大学との連携によるロボット事業を展開してきた。JAXAと宇宙航空教育活動に関する協定締結をするなど、教育の中でも、特に科学教育には、力を入れて取り組んできた。そうした施策が、成果としても現れており、Pepperプログラミング全国大会やロボットコンテストなどで大変優秀な成績を収めている。こうした体験を通じて子供たちが、科学技術に興味・関心をもち、そして高めることで、これからの時代に求められる、未来を切り拓く力である創造力や課題解決力などが培われると考えている。コロナ禍により、各事業が中止または縮小して実施するなど影響を受けています。そうした状況も踏まえていただきながら、本市の科学教育におけるさらなる推進に向け、皆様からのご意見を伺いたい。
- 野中：推進してもらいたい取り組みであるが、市内の児童生徒にもっと周知が行き渡ればもっと優秀な成績を残す子や能力が開花するかと思う。小学生の孫がパソコンでアメリカヒューストンの学生と英訳ソフトを用いて会話をしていたのに驚き、発想力等の高さを感じた。ぜひ周知を徹底してもらいたい。
- 浅井：次の2点についてとてもよい取り組みと感じた。学校教育は万遍なく教える場所であり、学校ではなかなか時間が割けられない取り組みであること。小さいころから男女関係なく、科学の分野に触れられる機会があること。児童全員を対象とした取り組みはなかなか難しいと思うが、まずは、興味関心がある一部の子に種を蒔き、そこからみんなへ広がってくればよい。
- 山田：すそ野を広げる、興味を持った子をどんどん伸ばしていくという両面の目的を達成する良い取り組みである。この取り組みとせずとつながっているのはすばらしい反面、子供みんなが同じ時期に興味を持つわけではないし、一度ほかの分野に興味を持った子供が戻ってこられる環境の提供や、大人が保護者としての立場でなく、自分自身の学びのために参加し楽しめる場などでもあってほしい。今は科学に特化してもよいが落ち着いたら、他の芸術の分野も同じような取り組みを考えてもらいたい。
- 牧田：焼津市にはディスカバリーパークというハードがあるが、それに対抗できるソフトであると感じる。本事業は10年も取り組んでいるが、単純な継続ではなく、様々な主体との連携により充実し魅力ある取り組みとなっている。
- 教育長：学校でも理科や科学の勉強はあるが、一般的には決められた内容で行われ、子供たちの科学的な思考力を養っている。本事業は、最先端の科学技術や藤枝市の身近な題材を活用した取り組みがされている。子供たちが実体験をする良い機会となっていることが一番大きいと感じる。参加者の数に制限があるため、一人一台タブレット端末を活用して、映像を共有し、家でも観られる、学校の授業でも使えるなどに広げ、よりダイナ

ミックな取組みをしていってもらいたい。地域の素晴らしい人材を活用して、可能であればアドバンスコースを開設するなど、生涯学習の理念でもある、いつでもどこでも学習できる場を提供してもらいたい。

市長：以前藤枝市からノーベル賞を受賞する人材を輩出したいと述べたことがある。市内には能力のあるまたは、才能のある子は必ずいます。そういう子供のまずきっかけとしてこの取組みは大変重要であり、力を入れている。本市の予算に余裕があれば、科学館をつくりたいと思っている。子供たちだけでなく、子供たちを中心に大人も科学に興味を持ってもらえるような。しかしながら、現実には難しいので、まずは優秀な人を招聘した科学技術にきっかけをもってもらえるような取組みをしている。継続した取組みであるがその子供たちがどうなったか検証してもらいたい。検証なくして成果が語れない。

(2) 新型コロナウイルス（変異株）感染拡大に伴う学校における危機管理体制について

市長：学校においては、これまで徹底した感染防止対策により、学校内での感染はないが、感染力の強い変異株の影響も心配されるため、引き続き気を緩めることなく、一層の感染防止と危機管理体制の徹底をしていかなければならない。今後、子どもの健やかな学びを保障するため、学校における感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減し、引き続き安全で安心な学校運営がなされるよう、皆様のご意見をお聞きしたい。

野中：学校閉鎖の判断などマニュアルの整備を確認しておくとともに、手続きにより対応が遅れないような体制もお願いしたい。

市長：学校ではマニュアルを完備しているが、変異株にも対応できるよう、学校単位で体制を確認しておく必要はある。

山田：無症状の感染者からうつされるのが一番怖いですが、今現在学校でクラスターが発生していないので、子供たちの頑張り先生方の対応には感謝している。

市長：最大の対策は、個人一人ひとりの意識や行動である。人への思いやりがある子供が多くなることが大切である。

浅井：体調不良や心配で登校したくない子供がいる子供にもオンラインを活用するなど対応できる体制をしてもらいたい。

市長：子供一人ひとりの授業への進捗管理をしながら対応を図ってもらいたい。

教育長：学校でも油断することなく感染症対策をしてもらいたい。学校閉鎖などになっても、リモート学習することでこれまで見えなかった課題もでてきたが、オンラインを活用した対応ができるよう、整備してもらいたい。また、子供たちの心のケアも重要である。2月の全国小中学校でのアンケート結果で、不安やストレスを感じる児童生徒が14%弱いることがわかった。原因はコロナを起因とした友人関係、行事の中止、学習、親の変化が影響しているとのことである。コロナ対策は、子供たちにとっ

て、楽しいこと、うれしいこと、夢中になってやれることを奪っていく。
長期化することで、より注意していかなければならない。対策は難しい
が、スクールカウンセラーや学校医など子供を細かく見ていくことが大
切である。

市 長：藤枝市はすばらしいことに、感染者は全く出ていないが、変異株も流行
しているので、学校においては、引き続き意識を高め、適切な対応がで
きるような体制をお願いします。